コロンビア内政・外交（２０１４年２月）

I 概要

【内政】

●３日　政府とＦＡＲＣ間の和平交渉の通信傍受の発覚

●５－９日　ギャロップ社の大統領選挙投票先に関する世論調査

●１５日　国軍の汚職関連報道

●２３日　アイダ・アベジャ愛国連合大統領候補に対する暗殺未遂

●２４日　サントス大統領が再選時の副大統領候補にバルガス・ジェラス前住居・都市・国土大臣を指名

【外交】

●３日　クレッグ英国副首相の当国公式訪問

●６日　オルギン外相のベネズエラ訪問

●９日　太平洋同盟閣僚級会合（於：カルタヘナ）

●１０日　太平洋同盟首脳会合（於：カルタヘナ）

●１１日　ウマラ・ペルー大統領の当国公式訪問

●１６－１７日　ヘイグ英国外相の当国訪問

●１７日　ブレンデ・ノルウェー外相の当国公式訪問

●２１－２３日　テテ・ガーナ外相の当国公式訪問

●２８日　オルギン外相の訪米

II 本文

【内政】

１　政府とＦＡＲＣ間の和平交渉の通信傍受

　３日，ラ・セマナ誌の報道により，通信傍受施設「アンドロメダ」の存在が明らかになった。当該施設は，レストラン及びテレビゲーム施設の外観を装っており，ボゴタ市西部に所在した。同施設では，政府とＦＡＲＣの和平交渉の交渉官双方の通信を傍受していたとされる。

　国会の非公開審議において，ピンソン国防大臣は，このような外観のカムフラージュをした施設は，国家への脅威に対する戦いにとっては，合法的かつ必要なものである旨述べた。また，「アンドロメダ」は，通信内容の傍受ではなく，（電話の通話先の特定等を含む）電磁波のモニタリングに使用されていた旨述べた。

２　大統領選挙投票先世論調査

　５－９日に実施されたギャロップ社の世論調査において，大統領選挙における投票先として，サントス大統領が34.7%，スルアガ候補（民主中道運動党）が10.8%，ペニャロサ候補（緑の同盟）が8.6%,白紙票が28.1%となった。このため，サントス大統領が第一回投票で有効投票（白紙は有効投票）の過半数を確保することは困難な情勢であることが判明した。

３　国軍の汚職

　１５日，セマナ誌は，国軍関係の高額契約における重大な不正行為の証拠を示す電話会話についての記事を掲載した。同事件においては，ゲリラに対する功績を捏造するために，非ゲリラ市民を殺害したことにより服役中の大佐が，主要な役割を果たしたとされる。

　政府，検察庁，及び会計検査院は，国軍の契約につき，不正の起こりやすい機密費，交換部品，及び燃料の支出につき，調達手続の詳細な検証を開始した。

４　選挙運動期間中における暗殺未遂

　２３日，アイダ・アベジャ愛国連合大統領候補が，カルロス・ロサノ上院議員候補とともにアラウカ県において移動中，車列がバイクに乗った男達に制止されそうになり，止まらなかったため，発砲された。大半は被害を受けなかったが，防弾でなかった最後尾の車輌が損害を受けた。同事件は対象者を間違えた襲撃であったと推測されている。

５　サントス大統領による再選時の副大統領候補決定

　２４日，ヘルマン・バルガス・ジェラス前住居・都市・国土大臣がサントス大統領の再選活動における副大統領候補となった。

【外交】

１　クレッグ英国副首相の当国訪問

　３日，クレッグ英国副首相が当国を公式訪問した。クレッグ副首相はサントス大統領及びオルギン外相と会談し，両国の貿易，ＦＡＲＣとの和平交渉，麻薬問題，科学技術及び教育等の問題につき協議した。クレッグ副首相は，４００万英国ポンドに上る科学及びイノベーション分野の教育関連の投資につき発表した。

２　オルギン外相のベネズエラ訪問

　６日，オルギン外相はベネズエラのマラカイボにおいてハウア・ベネズエラ外相と会談した。両外相は，両国間の国境地域における密輸問題につき協議した。

３　太平洋同盟首脳会合等

　９日，太平洋同盟加盟国の外相及び貿易担当大臣が，首脳会合の前座としてカルタヘナにて会合し，太平洋同盟が域内において最も深化した統合プロセスであり，それを強化することが意義深いものである旨表明した。

　１０日，太平洋同盟首脳会合が開催され，コロンビアのサントス大統領，メキシコのペニャ・ニエト大統領，チリのピニェラ大統領，ペルーのウマラ大統領及びコスタリカのチンチージャ大統領が参加した。コスタリカの太平洋同盟加盟に向け，同国との最終調整のための会合及び太平洋同盟企業評議会メンバーとの会合も実施された。各首脳は，太平洋同盟域内の貿易品目９２％の関税即時撤廃の他，残り８％についても段階的に関税撤廃を約束した追加議定書に署名し，カルタヘナ宣言も発表した。

　今般の首脳会合にてフィンランド，インド，イスラエル，モロッコ，シンガポールがオブザーバー国として承認された。

４　ウマラ・ペルー大統領の当国公式訪問

　１１日，ウマラ・ペルー大統領が，当国のカルタヘナでの太平洋同盟首脳会合参加後，国賓として訪問を継続し，サントス大統領及びオルギン外相と会談した。首脳会談においては，特に国境地帯の開発につき協議したほか，ベネズエラやエクアドルとの間で実施しているものと同様の二国間閣僚級会合の枠組みを設置することに合意した。

５　ヘイグ英国外相

　１６－１７日，ヘイグ英国外相が当国を訪問し，１６日にオルギン外相とカルタヘナにて会談し，環境問題や紛争時の性的暴力の防止等に関して協議した。１７日には，ヘイグ英国外相は，サントス大統領と会談し，両国間の協力関係につき協議した。

６　ブレンデ・ノルウェー外相の当国公式訪問

　１７日，ブレンデ・ノルウェー外相が当国を公式訪問し，サントス大統領及びオルギン外相と会談し，太平洋同盟の発展，ノルウェーがファシリテーターとなっているＦＡＲＣとの和平交渉及びシェンゲン協定国へのコロンビア人の査証免除等につき協議した。ブレンデ・ノルウェー外相は，ピンソン国防大臣とも会談した。

７　テテ・ガーナ外相の当国訪問

　２１－２３日，オルギン外相からの招待を受け，テテ・ガーナ外相が，同国外相として初めて，当国への公式訪問を行った。２１日の外相会談において，両外相は，二国間協議を設置する了解覚書に署名した。２２日，テテ・ガーナ外相はメデジン市を訪問し，統合公共交通システムの発展等の知見を深め，２３日にはガルソン副大統領と会談した。

８　オルギン外相の訪米

　２８日，ケリー米国国務長官との第４回米・コロンビア・ハイレベル・パートナーシップ対話のため，オルギン外相が訪米した。ケリー国務長官は，コロンビアの紛争による深刻な被害地域に対し，司法へのアクセス改善，地方政府による汚職及び人権侵害対策のため，４年間で１５００万ドルの投資を行うことを表明した。また，土地返還法の実施努力を支援するために別途７００万ドルの投資の実施も表明した。（了）